

# Beyond 5G推進に 向けた日本企業との 連携について

2022年7月27日  
Ericsson



# エリクソンのビジネス



通信事業者に対して大きな価値をもたらすネットワーク基盤を提供

## ビジネス分野:

- ネットワーク機器
- クラウドソフトウェア及びサービス
- 最新技術と新規ビジネス
- 企業向けワイヤレスソリューション

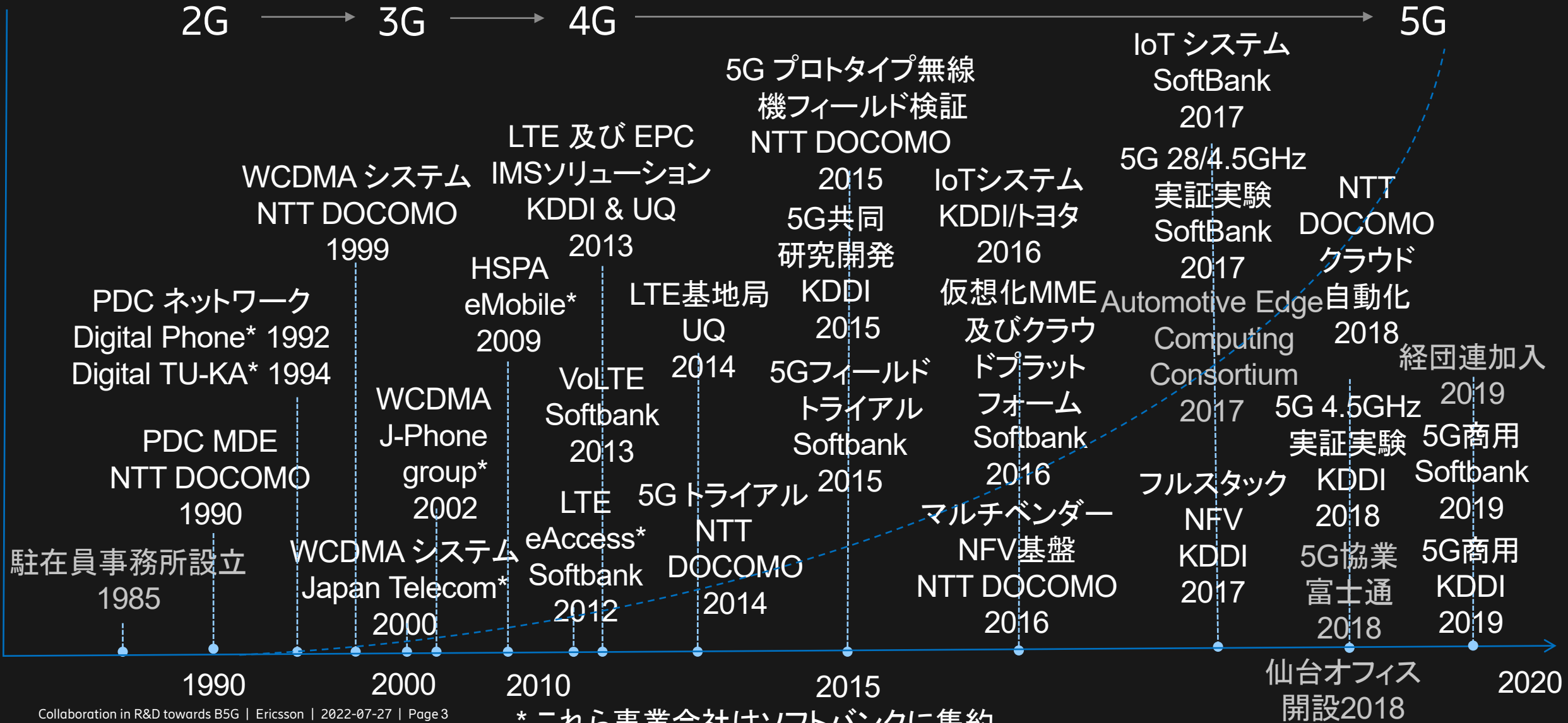
## ビジネス規模\*:

- 180箇国以上に展開
- 売上: 3兆1千億円
- 従業員: 101,300人 (R&D: 27,400人)
- 特許: 60,000件以上

Image: Ericsson Headquarters, Kista, Sweden

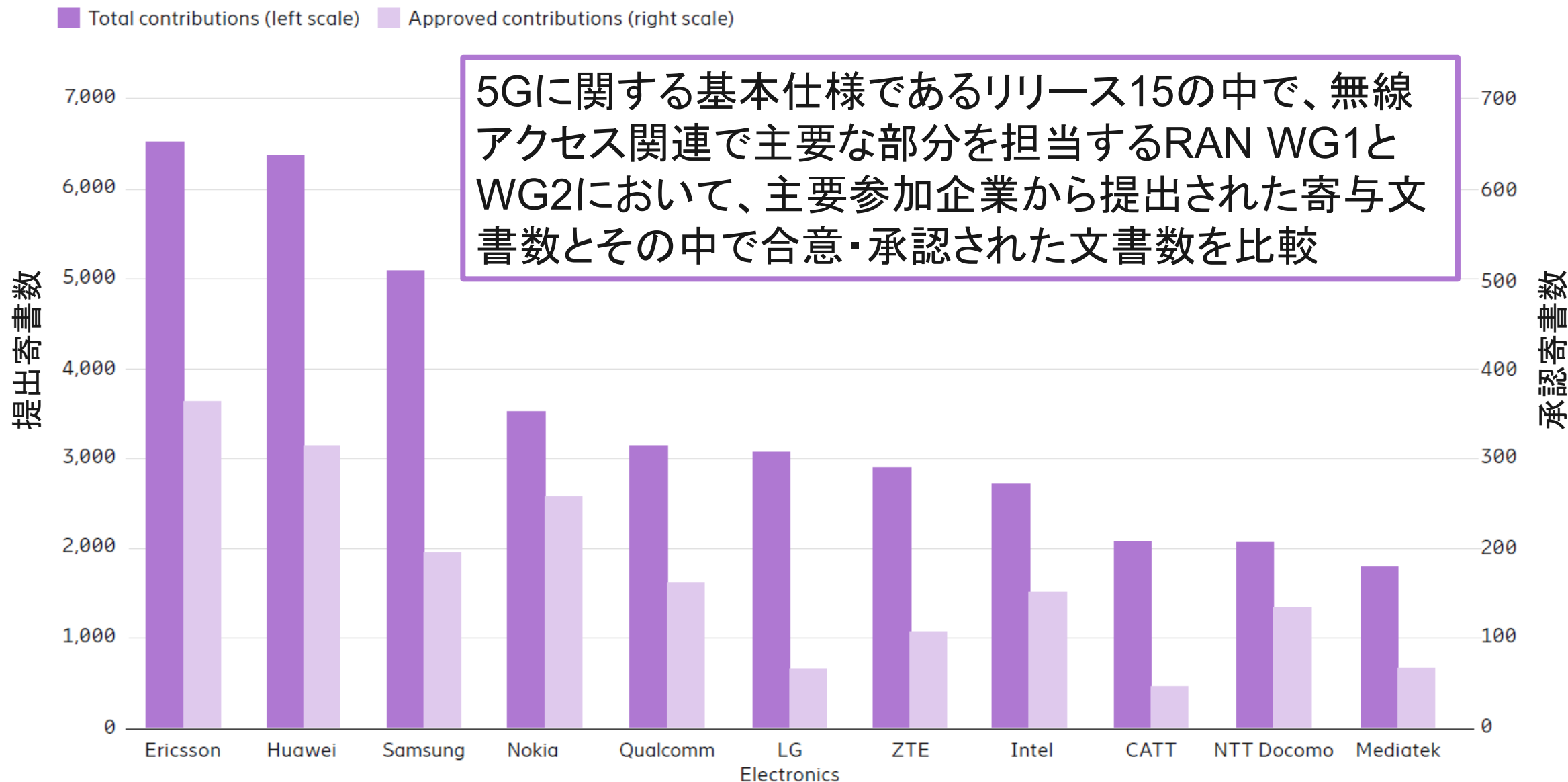
\*2021年の数値

# 日本市場における37年間の歩み



\* これら事業会社はソフトバンクに集約

# 3GPP Rel15 5G関連RAN1/2提出寄書と承認寄書数 ≡



# モバイル通信分野の知的財産で世界をリード



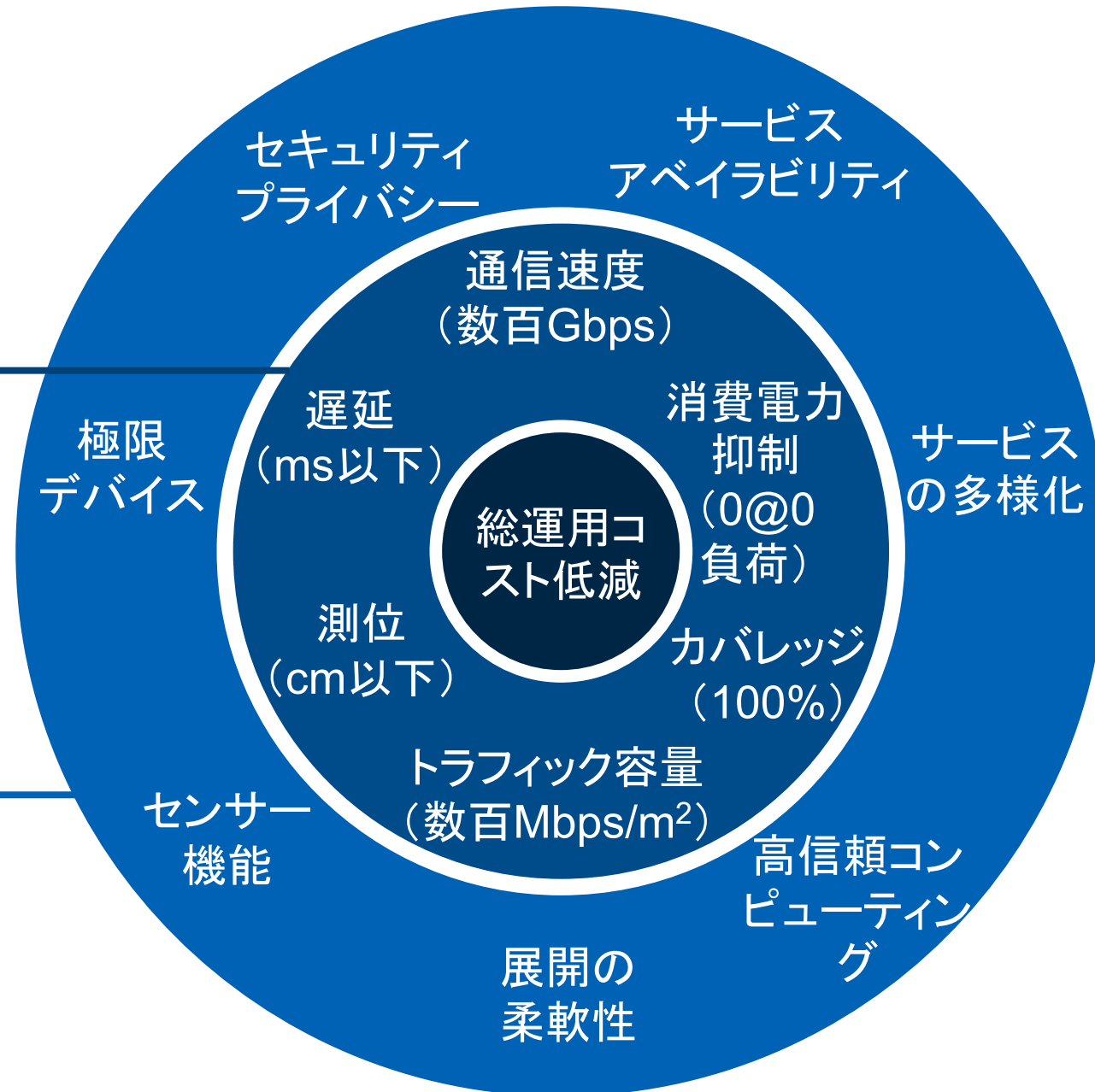
- 継続的で多額の研究開発投資（2021年は約5,700億円）に基づき、移動通信分野で世界最多の必須特許（SEP）ポートフォリオを保持
  - ❑ 2G (GSM/EDGE): 必須特許の強大なポートフォリオ
  - ❑ 3G (WCDMA/HSPA): 必須特許の最大保有者
  - ❑ 4G (LTE): 必須特許の最大保有者（約25%）
- 世界全体で6万件以上の承認済み特許取得
- **FRAND** (Fair, Reasonable & Non-Discriminatory) 準拠ライセンスング
  - ❑ 100以上のライセンスング
  - ❑ 新規参入企業などへ市場の門戸を開放
  - ❑ 公平な競争を促進

# 6Gの要求条件



5Gの更なる進化

6Gで期待される  
新規・異次元能力



# B5G/6Gに向けて期待される技術分野



## ハードウェア

汎用ハードウェア  
アクセラレータ、  
新材料、  
量子技術



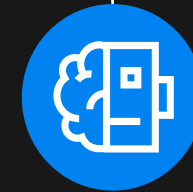
## オープンソース

オープンソースへの依存度  
の増大



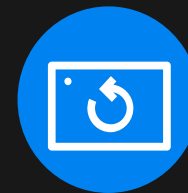
## 組み込み型AI

データ中心のネットワークで  
自動化とコスト削減のため  
のAIの利用が加速



## クラウド

コスト/効率に優れた更なる  
クラウド化、RANのクラウド化、  
クラウドを前提とした実装/標準、  
プログラマビリティ



## 運用中の継続的開発

利用可能なツールの進化が加速、  
開発 (DevOps) ペースの増大



## インターネットの進化

複数経路設定可能な伝送、  
分散型で安定しセキュアな  
サービス

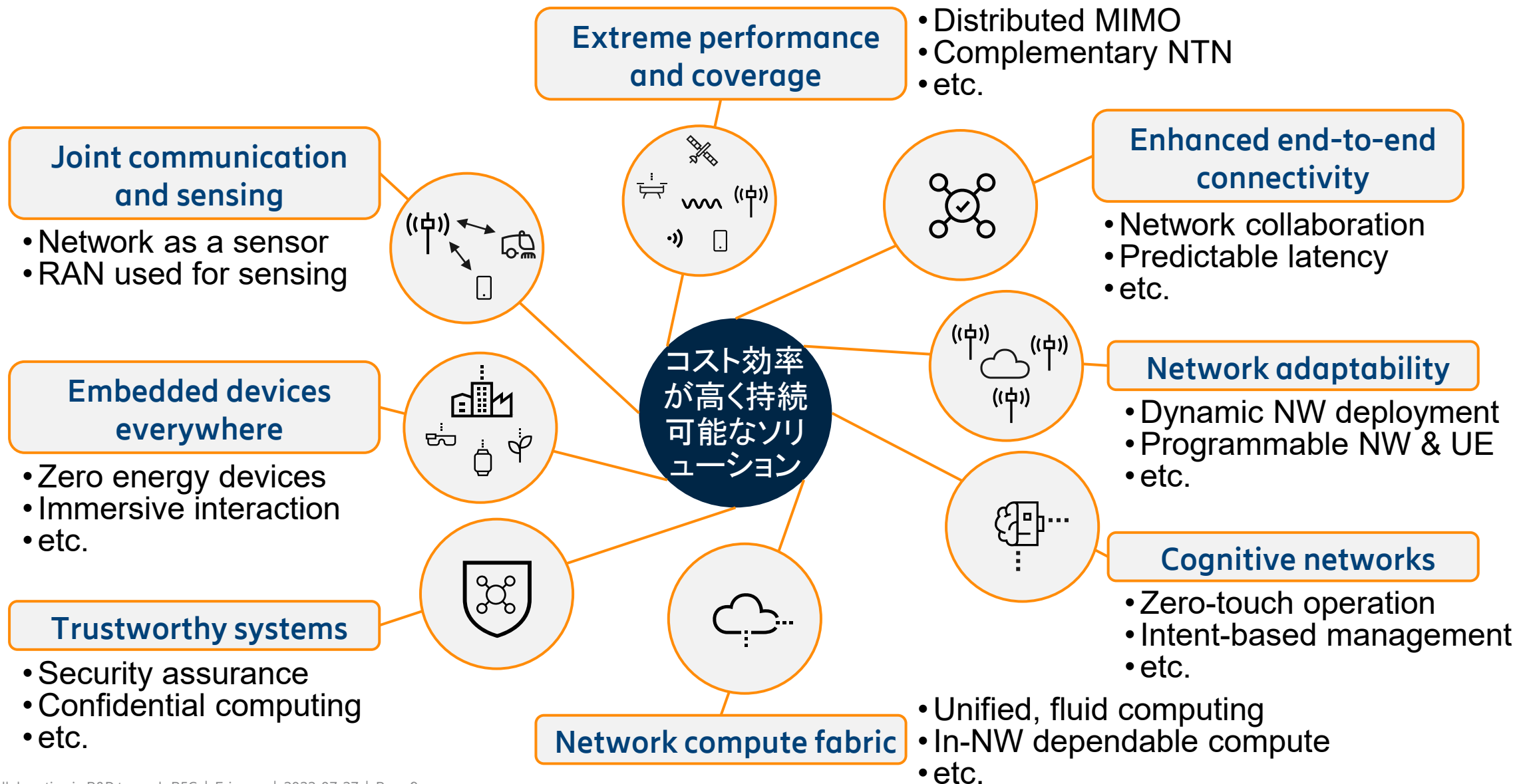
# B5G/6Gに向けて日本の産業界への期待（例）



- コンポーネント、各種センサーの開発
  - B5G/6G（例、準THz帯）に適したコンポーネントや素材
  - B5G/6Gで大きな役割を果たす様々な種類のセンサー
  - 様々な特性を有する反射板 – RIS (Reconfigurable Intelligent Surfaces)
- “Industry 5.0”
  - 強力な経験と知見をベースとしたB5G/6Gにおける新たな製造技術
  - 製造業の再活性化への貢献
- アプリケーション
  - ビジネス、消費者市場向けのXRやホログラフィアプリケーション
  - 新たな形態のゲーム、eスポーツ



# 日本企業との連携が期待される技術分野





連絡先 : [masanobu.fujioka@ericsson.com](mailto:masanobu.fujioka@ericsson.com)